

2023年2月8日

報道関係 各位

住友不動産株式会社

3日間総計32,000人が来場した「TOKYOキッズフェスタ2023」で 分別促進を呼びかける「ペットボトル水平リサイクルイベント」を開催

住友不動産株式会社(東京都新宿区、代表取締役社長：仁島 浩順、以下「当社」)は、2023年1月27日から29日に新宿住友ビル三角広場にて開催された「TOKYOキッズフェスタ2023」内において、ペットボトル水平リサイクルに欠かせない「分別」を見て、知って、学び、より一層促進することを目的とした「ペットボトル水平リサイクルイベント」を開催いたしましたので、お知らせします。

イベント全体で32,000人を超える多くのご家族連れやオフィスワーカーのお客様が来場し、使用済みペットボトルから作られた恐竜化石アートの鑑賞や親子で学べるリサイクル教室、体験型イベントなど、さまざまな観点からペットボトル水平リサイクルに触れていただきました。学んだ内容を活かし、イベント参加後には、自ら分別してペットボトルを回収ボックスに投入する姿も多くみられました。

当社は、今後も飲料業界との協働のもと、テナント企業や来訪されるお客様とともに、建物から回収されるペットボトルの分別徹底の意識醸成をはかり、水平リサイクルを促進する活動を進めてまいります。

<イベント当日の様子> (詳細は次頁)

ペットボトル恐竜化石アート

(接着剤を使わず、2万本のペットボトルだけで作られた全長11mの恐竜)



サントリーグループ 親子で学べるリサイクル教室

(28日に3回、各回満席にて開催)



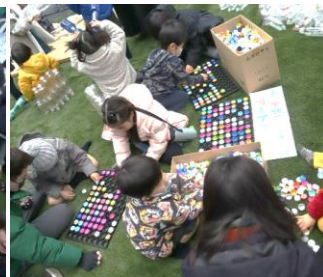
アートを通じ遊びながら水平リサイクルを体験する各種コンテンツの様子



フотスポット



恐竜発掘パズル



キャップアートパズル



ペットボトル紐づくり体験

<報道関係者お問い合わせ先>

住友不動産株式会社 広報室 TEL:03-3346-1042

(参考) 各コンテンツの様子



左: ペットボトル恐竜化石アート(全長11m)
右: ペットボトルから紐を作る体験の様子

【ペットボトル恐竜化石アート、制作工程体験】

東京藝術大学が後援する藝大OB・OGによるアーティスト集団「KOMOGOMO展」が制作したアート作品。原料は、新宿エリアで働くオフィスワーカーから回収した約2万本の使用済みのペットボトルのみで、全長11mの体を、ペットボトルから作った「紐」で縫い合わせる技法や、熱溶着技法を用いて、接着剤を一切使わず接合しており、すべてそのまま「水平リサイクル」できる点が特徴です。会場では、実際にペットボトルから紐を作る体験場を設けるなど、アートを通じて、たくさんの方々に水平リサイクルについて触れていただく機会となりました。



上: 親子で学べる
リサイクル教室の
様子
右: 教室後、ペット
ボトルを分別して
回収箱に入れる
お子様の様子

【親子で学べる水平リサイクル教室】

サントリーグループの講師が、わかりやすく水平リサイクルの必要性やリサイクル工程などを説明しました。

ペットボトルのリサイクルは非常に進んでいるものの、資源を何度も循環することができる「水平リサイクル」はまだ実施率20%程度と聞いて驚く表情を見せたり、ビンゴゲームを通じて楽しく、身近なエコな取組みを学んだり、各回満席にて、多くのお客様に参加して頂き、「分別」の重要性を学んでいただきました。

教室の開催後は、自らペットボトルを分別し、回収ボックスに投入して、さっそく「分別」を実践するご家族も多く見受けられました。

※ペットボトル水平リサイクルとは、使用済みのペットボトルを高度リサイクルにより飲料用ペットボトルに再生し、何度も再利用する手法です。

【ペットボトルアートパズル】

お子様にも関心を持っていただけるよう、ペットボトルで作られたミニチュア恐竜化石の骨を、発掘調査をするように、組み立てるパズルと、ペットボトルのキャップでカラフルな模様を作るアートパズルを用意し、体験いただきました。

ペットボトルに触れ、パズルを楽しむ中で、普段は縁遠い「リサイクル」に一步近づき、興味をもってもらうきっかけとなりました。



キャップアートパズル